

お知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、下記項目につきまして基準値の変更、並びにC-ペプチド用保存剤についてのご案内をさせていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

基準値変更項目

● 1174 免疫複合体《C1q固相法》

新	旧	備考
3.0 $\mu\text{g/ml}$ 以下	2.9 $\mu\text{g/ml}$ 以下	測定試薬の変更

変更期日

● 平成17年4月27日（水）受付日分より

* 「Cペプチド用保存剤」につきましては、裏面をご覧ください。



尿中C-ペプチド用保存剤

「C-ペプチド 項目コード 1227」を蓄尿する際の指定保存剤は劇物指定薬物であるアジ化ナトリウムですが、劇物指定外薬物である炭酸ナトリウム（「I-XB 尿C-ペプチド安定化剤」の商品名で栄研化学より市販）も同様に保存剤として使用出来ます。

しかし、炭酸ナトリウムは入手し易い反面、他の測定項目に影響を与えることから、炭酸ナトリウムを使用した検体では他項目の同時依頼を避け、「C-ペプチド」専用検体としてご提出下さい。

保存剤の影響を受ける項目

測定項目		測定項目	
107	蛋白定量	384	カルシウム (Ca)
377	糖定量	385	無機リン (P)
692	NAG	557	17-ヒドロキシコルチコステロイド (17-OHCS)
387	尿酸	558	17-ケトステロイド・総 (17-KS)
381	ナトリウム (Na)	799	尿中アルブミン
383	クロール (Cl)	626	β 2-マイクログロブリン
329	マグネシウム (Mg)	1654	尿中トランスフェリン

* クレアチニンの測定値については、影響は認められませんでした。

- ・ 上記項目以外の項目につきましても影響を及ぼす可能性がございますので、保存剤を使用しない検体をご提出下さい。
- ・ 炭酸ナトリウムは栄研化学より「I-XB 尿C-ペプチド安定化剤」の品名で市販されています。お取引のある医薬品納入業者等にご相談下さい。

炭酸ナトリウムの効能については、以下の検討論文が公表されています。

小川郁代、他：

尿C-ペプチド測定用の蓄尿時添加剤としての炭酸ナトリウム製剤の検討、糖尿病 46：919～924, 2004